

子どもが創る・子どもと創る – 多様な学びと社会を実現する –

特定非営利活動法人東京シューレ

2020年度（第22期）

活動報告書



特定非営利活動法人東京シューレ

東京都北区岸町 1-9-19 コーエイビル 〒114-0021

TEL03(5993)3135 FAX03(5993)3137 E-mail : info@shure.or.jp URL : <https://www.shure.or.jp>

もくじ

2020 年度（第 22 期）事業報告及び決算について	-----3
■ 1. 2020 年度基本方針・重点目標をふり返る	
■ 2. 事業の概要	-----6
■ 3. フリースクール等の事業について	-----6
(1) 王子シュレー	
(2) 新宿シュレー	
(3) 流山シュレー	
(4) 大田シュレー	
(5) シュレー大学	
■ 4. ホームエデュケーションネットワーク運営事業について	-----11
■ 5. 高校コース事業について	-----12
■ 6. 公民連携事業	-----12
■ 7. フリースクールスタッフ養成プログラム	-----13
■ 8. その他の活動について	-----13
■ 9. 団体の運営に関する報告	-----18
■ 10. 決算に関する報告	-----21
監査報告	-----27
2021 年度（第 23 期）事業の重点と基本計画	----- 39
■ 1. 重点目標と基本計画	-----29
■ 2. 役員の体制	-----30

2020 年度（第 22 期）事業報告及び決算について

■ 1 2020 年度の基本方針・重点目標を振り返る

下記の重点目標(テーマ)を設定して 1 年間取り組んでまいりました。

重点目標

〔重点目標 1〕一人ひとりの多様な状況や個性、子どもの自由にそった、子ども中心、若者中心の学び・活動づくりを推進する

- **子どもの声をよく聞き、子ども個人のやりたいことが実現する取組（相談、チュートリアル、個別タイム、プログラム、進路）**
→ コロナ状況下、オンラインの導入による交流や講座、個別相談や個別学習、35 周年実行委員会など新たにできることが広がりました。しかし、フリースクールに通えない期間や開室時間の短縮などがあり、活動づくりや関係づくりに影響はあり、やりたいことが実現しにくい状況もありました。
- **いろいろタイムや子どもの実行委員会を通した学びや活動づくり**
→ 通常活動は遠出やスポーツ施設等の活動が制限を受けましたが、室内でのものづくり、35 周年イベント、映画制作、マンガ制作など、合同での取り組みなど、活発に行われたものもありました。
- **デジタルスタジオ活動等（子ども中心の学びの ICT 活用、プログラミング、EdTech など）の推進**
→ スペースの人数制限等もあり、デジスタスペースの活用は低迷しましたが、映画制作をデジスタ事業（ボーイング社様助成）として実施し、機材設備や撮影技術習得など進めることができました。EdTech 教材は経産省補助事業を活用して、「キュビナ」、「DQ ワールド」のオンライン教材を導入することもできました。
- **スタッフ体制の充実**
→ コロナ閉室や時間短縮開室としましたが、スタッフ体制は雇用確保の観点からも削減せず、一人ひとりの子どもやオンライン活動に注力しました。また、支援企業である日本産業パートナーズ株式会社様より社員派遣をいただきスタッフ体制の欠員のフォローができました。
- **家庭（学校以外の学習の場）での学びやホームエデュケーション家庭のつながりを広げる取り組み**
→ オンラインフリースクールの様々なチャレンジを行いました、ひろく普及するのは難しい面がありました。ホームシューレも交流活動ができなくなったことで、家庭どうしのつながりを広げることができませんでした。立石への移転で今後への可能性を広げました。
- **35 周年記念イベントの取組とそれを活かしたつながりと学び、関係団体・企業の協力協働による実施**
→ 学園との共同で、子ども実行委員会、保護者実行委員会で進め、アマゾンジャパン様の協力により画期的なオンライン記念イベントが実施できました。記念講演や OBOG の多様な生き方から多くの学びがあり、また T シャツやグッズの制作も盛り上がり保護者交流が進みました。江戸川小学校の開校記念イベントでは実現の経過や成果への理解が深まりました。2 月 OBOG 保護者シンポジウムも盛会となりました。

〔重点目標 2〕小学生のニーズが社会的に高まっている状況を踏まえて、初等部の受け入れ体制や活動の充実を図る

- **初等部独自の学びと活動づくりとその充実（スタッフ初等部研究会と実践）**
→ 説明会の初等部保護者参加が増え、王子初等部が特に会員が増えて活動がにぎわいました。一方、コロナの影響により通えない、通わない会員も出て、準会員や退会の動きも進んでしまいました。スタッフによる初等部研究会は継続し、ほっとスクール「希望丘」や江戸川小学校の取り組みを参考にしあうことができました。
- **東京シューレ江戸川小学校、ほっとスクール「希望丘」と連携した受け入れ体制づくりや取り組みの連携**

→ フリースクールからの転出転入はありましたが、受け入れについての連携は具体的な計画と取り組みへの展開までは進みませんでした。

【重点目標 3】普通教育機会確保法を活かした取組や公民連携の取組を推進する

- 法の周知や施策を推進する働きかけを継続
- フリースクール、親の会の両ネットワーク、実現する会等と連携した公民連携、実践交流、実証事業の取組の推進
→ 実現する会、フリースクール全国ネットワーク、親の会全国ネット、東京都フリースクール等ネットワーク（TFN）、千葉県フリースクール等ネットワーク（CFN）等を通じて、法の周知や施策推進の働きかけを継続しました。
- 教育委員会・学校等との連携推進、協働事業や委託事業等の取組の継続（世田谷区ほっとスクール「希望丘」運営委託 2 年目、北区政策提案協働事業 3 年目、その他、学校・フリースクール等連携会議）
→ 東京都教育委員会学校・フリースクール等協議会、北区教育委員会との協働事業 3 年目（政策提案協働事業）、新宿区フリースクール等連携会議、さいたま市フリースクール等連携会議、世田谷区、流山市との連携が進展しました。
- 会員在籍校との連携強化（担任説明会開催、報告書等の体制）
→ 担任説明会の開催、日常の在籍学校連携・連絡等、積極的に進めました。一方でシュールやスタッフの業務量が増えた点は課題です。

※朝日ライフアセットマネジメント株式会社様寄付助成により取り組んでいます。

【重点目標 4】安心・安全の確保と向上、事業基盤安定化、組織の基盤強化を推進する

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組とそれに対応した子どもの居場所と学びを守る取組（オンラインによる新たな活動・学びづくり、会費等の緊急減免支援、スタッフのテレワーク体制整備）
→ 日々の感染防止対策と工夫により 1 年を柔軟に乗り切ることができました。一部スペースでスタッフの感染がありましたが、迅速かつ的確な対応ができました。感染拡大や緊急事態宣言の影響により経済的な困難に直面した家庭に対し、緊急会費減免支援を迅速に行い、子どもが居場所と学びを失わないよう支援しました。減免のための財源となる東京シュール奨学基金には、会員の皆さんを中心に多額のご寄付をいただきました。
- 安心・安全の確保と向上を多角的に推進
→ コロナ対応は丁寧に対策を進めることができました。シュール大学事件に関する第三者調査委員会報告提言の受け止めと会員共有（9 月）、10 月保護者説明となり、スペースの安心・安全に係る情報提供に課題が残りましたが、全スペースの常時施錠やロック施工を実施しました。
- 子ども等の人権に関する委員会を中心とした子ども・若者を守る施策の推進
→ 全スペースでの性と生に関する学習、人権相談窓口の周知（会員専用ホームページ）、人権擁護リーフレットの制作準備（6 月完成予定）等を進めました。性暴力被害事件の会員説明や共有については時間がかかり、裁判・事件の検証実施を人権委員会部会で 9 月にスタートさせることができましたが、11 月に第三者調査検証委員会に改組し体制を改めて取り組んでいくこととなりました。会員・保護者・スタッフ・子ども会員への説明、理事会での共有も課題となっています。
- 子ども・保護者・スタッフ・関係者等のコミュニケーション強化・向上
→ 保護者メールの活用、会員専用ホームページの開設などを通して、連絡体制を強化しました。相互コミュニケーションや交流は課題です。
- 35 周年を機とし、発信力の強化・工夫、支援者の拡大、ファンドレイジング（寄付の拡大）、認定 NPO 法人化への準備等の推進
→ コロナ状況への対応については NPO 会員など近いステークホルダーに向けて素早い奨学基金への寄付募集を行うことができました。一方、性暴力被害事件・裁判、シュール大学事件の説明や共有、対応が進まず、35 周年を機とした発信が困難であったこと、行政や支援企業、OBOG、SNS 等からの批判も多くあり、発信力強化、支援者や寄付拡大の進展が難しい年となりました。

- **王子ビルの契約更新、シューレ大学移転の検討と新宿シューレ拡張の検討、若松スペースの 3 年後へ向けた準備など事業基盤安定化の検討**
→ シューレ大学の休止による損失、新宿シューレ拡張の準備に時間を要し、事業基盤の再構築が必要な年度となりました。
- **理事会運営の強化（ガバナンス、コンプライアンス、法人の諸規程等の整備等）、事務局強化**
→ 性暴力加害事件・裁判、シューレ大学事件の対応と議論に時間を要し、20 回の理事会開催となりました。組織としてのガバナンス、第三者を入れた人権委員会や調査委員会との関係の取り方、提言の受け止めなどに混乱をきたし、シューレ大学スタッフ・親理事 2 名の期中辞任、事務局長の年度末辞任表明がありました。理事会について考える学習会を年度末に計画し、外部視点を取り入れながら改善していく契機をつくりました。理事会・事務局の強化は課題です。
- **スタッフ養成プログラムやボランティアを活用したフリースクール人材養成**
→ スタッフ養成や創業支援プログラムはコロナ禍で計画変更を余儀なくされたものの、インターン 2 名、創業 1 団体（一般社団法人ミチシル）の支援を行い、成果を上げました。
- **スタッフの働き方や待遇の改善（休暇や賃金等の待遇改善）**
→ コロナによる先行きの不透明さを受け、常勤スタッフに協力を求め新給与規程施行を半年延期しました。一方、非常勤スタッフについては世田谷区の最低賃金にあわせて時給向上を図りました。コロナによる時短開室や在宅勤務をすすめ、テレワーク導入、非常勤スタッフの雇用も自力で守っていく方針を曲げずに実施しました。
- **その他**
コロナ対応、奨学基金等に対する高額寄付（1000 万円）があり、退会防止・学びの継続、経営面で大きく支えられました。

■ 2 事業の概要

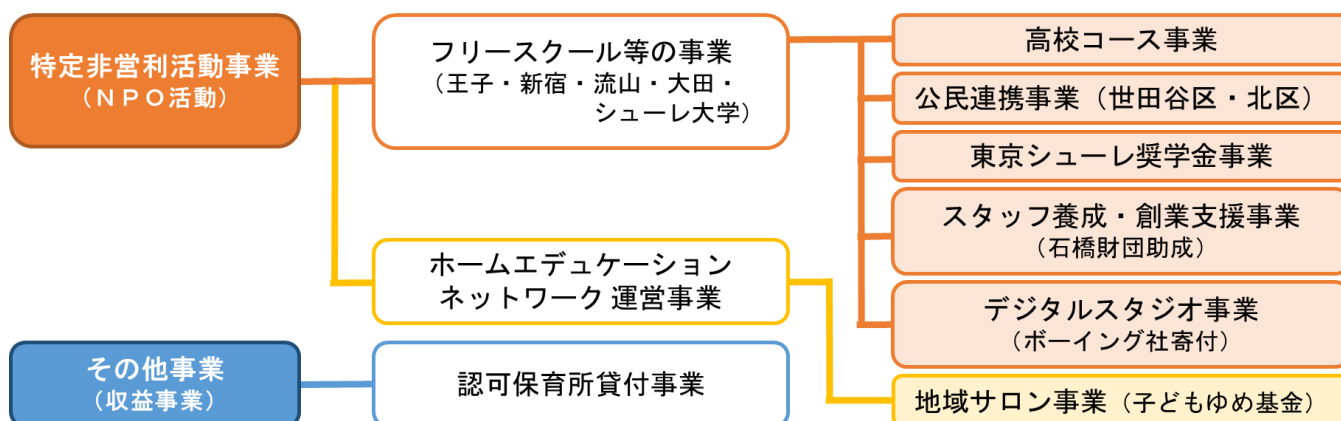
2020 年度（第 22 期）においても、「フリースクール事業」と「ホームエデュケーションネットワーク（在宅不登校支援）事業」を基幹事業として多様な活動に取り組んできました。

（1）会員数等の動向

2020年度在籍者数 () は2019年度

	王子			新宿			流山			大田			ライフデザイン		シューレ大学		ホームシューレ			ほっとスクール「希望丘」		
説明会 申込者数	255 (371)												22 (14)									
説明会 参加者数	181 (251)												21 (12)									
入会者数	29 (37)			8 (17)			6 (7)			11 (23)			0 (1)		8 (9)		31 (58)			相談者数	462 (167)	
在籍者数	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末			年間	年度末		年間	年度末	通室者数	正式生	通室生
	初	29 (29)	24 (28)	11 (16)	9 (10)	4 (7)	4 (7)	32 (29)	28 (28)								正会員	152 (162)	116 (131)	小学生	31 (36)	20 (26)
	中	24 (27)	17 (18)	10 (10)	7 (9)	16 (14)	13 (13)	10 (11)	9 (11)	0	0	0 (1)	31 (31)	0 (30)	メッセージ	51 (52)	39 (46)			中学生	27 (22)	29 (41)
	高	66 (67)	56 (63)	28 (27)	24 (26)	10 (8)	8 (8)	4 (4)	2 (4)													
計	119 (123)	97 (109)	49 (53)	40 (45)	30 (29)	25 (28)	46 (44)	39 (43)	0	0	0 (1)	31 (31)	0 (30)			203 (214)	155 (177)		計	58 (58)	49 (67)	
	年間					年度末																
	244 (249)					201 (226)																

2020 年度の事業・活動全体の様子



■ 3 フリースクール等の事業について

4 スペースを週 5 日で開設し、6 歳 (小 1) ～23 歳 (入会は 20 歳まで) を対象に受け入れ、初等部・中等部、高等部と高校コースを置き、子どもミーティングで活動や学習を決めていく子ども中心の学びを継続・発展させました。今期は、年度当初、新型コロナ感染拡大防止による閉室を 5 月まで行い、閉室後も時間短縮開室、検温・消毒、三密を防ぐ体制、黙食、オンライン活動の併用などの工夫してスペース運営を行いました。説明会の実施 (一部オンライン実施) や体験見学に影響が出たり、年度末の退会者数が増えるなど、入会や会員数の減少がありましたが、年間在籍会員は 253 名 (昨年度 246 名) と昨年度より多くの子ども・若者を支えました。

(1) 王子シュール

事業費 3,983 (4,396) 万円 ※ () は 2019 年度

不登校政策の変化により、フリースクールへのニーズの高まりが続く一方で、コロナの影響によるスペース閉室、説明会・見学会の遅れが影響し、下半期に会員増を丁寧に行いました。オンラインフリースクールの実施、フロアごとの人数制限などを行った結果、王子ビルのスペース的な課題から一堂に会す活動は自粛し、館内でオンラインでつながりイベント等で工夫しました。

① 35 周年の取組

- ・実行委員会への参加、打楽器隊やグループ等でのステージ、ジオラマ制作など、各部協力し合って実施しました。10 月のイベント当日も各階をオンラインでつなぎ盛り上がりました。

② 初等部の学びづくり、発展

- ・ミーティングの定着と対話からの学びが充実しました。
- ・プログラムは、算数教材キュビナタイム (週 3 日午前定例実施)、ものづくり (段ボール工作、木工、4 階の木工小屋を活用)、外遊び (月曜午前) のプログラム化で定着 (飛鳥山・中央公園ほか) が充実しました。
- ・ゲームを通じた交流は盛り上がりました。
- ・クリスマス会など、初等部実行委員会が活躍しました。
- ・クリスマス会、活動発表会で個人活動の発表の機会を積極的に持つことができました。

③ 中高等部の活動・居場所づくり

- ・「中高等部」(中 1～高 2 年齢)、「高等部」(高 3 年齢以上) で分けたミーティング、いろいろタイム等が定着しました。
- ・会員講師によるイラスト講座が人気となり、子どもが創る活動が広がりました。
- ・高校進学や学習サポートなど、希望による個別学習を継続して実施しました。
- ・高等部は美術館、哲学、社会講座などが定着し深い対話が行われました。

- ・東京シューレ音楽祭開催に向けた準備が始まりました。
- ・コーラスサークル結成、打楽器、バンド、作曲など、音楽活動が活発になり、35 周年、活動発表会などでも活躍しました。
- ・アメリカプロジェクトがコロナ状況でも継続し、クローンラスクールとのメール・オンライン交流が始まりました。
- ・デジスタプロジェクトは、タブレット使用の日常化、作曲、映画アニメサークルなどの活動ができました。しかし、デジスタスペースの活用は低迷し、スペース返却（2021 年 5 月末解約）を決定することしました。
- ・シューレ通信を隔月で王子が担当しました。2021 年度に向けて中高等部の活動として編集部メンバーが増えていきました。
- ・高校コースでは、フリースクール活動、居場所、高校コースそれぞれのニーズが混在し、部としての活動や取組に難しい面もありました。

④ コロナ状況下での活動

- ・オンライン交流やオンラインプログラムにチャレンジしました。
- ・遠出による体験活動を抑え、近隣散策や公園活用のプログラムが充実しました。
- ・屋上の柵を改修整備しスペースとしての活用を開始、「屋上わくわくプロジェクト」（初等部 2021 年度活動）などに展開していきました。
- ・通ってくる高等部メンバーの減少、初中等部も準会員・退会につながるメンバーも出るなど、難しい面もありました。

⑤ 初等部、中等部を中心とした入会増

- ・夏以降の体験見学を積極的にして、入会者 29 名（前年 36 名）となりました。
- ・北区教育委員会との連携事業による効果、北区からの説明会参加・入会者が増え、北区、豊島区、板橋区の近隣からの入会が 4 割を占めました。

⑥ 保護者同士の交流、学習会を開催する

- ・保護者会は、初等部の新入会で参加が増えましたが、オンラインが多かったことの影響や高等部の参加が少なく課題でした。

- ・ブロガーを仕事としている保護者に、「シリーズ人間」で登壇していただき、新鮮・刺激的な学びになりました。
- ・月 1 回の保護者会のほかにも、テレビ番組「不登校がやってきた」で保護者同士が交流ができました。学習会等への展開は難しく進められませんでした。

⑦ 自然に触れる活動を位置付ける

- ・コロナにより合宿や体験活動への制限を受けましたが、区内内や公園を大いに活用し、野外活動を積極的に行いました。

⑧ 安心・安全・快適なスペース環境の整備

- ・屋上柵整備、屋上の活用、駐輪場設置、オートロック出入り口施工、コロナ対応環境整備を行いました。

⑨ 課題と今後

- ・北区連携事業による地域との交流や連携をたもちつつ、今後も初等部の入会増や会員増を図りたいと思います。初等部活動と学びの活発化は期待できます。中等部や高等部は、進路の関心に応じた支援、フリースクール活動、居場所、高校コースそれぞれのニーズが混在している中での活動づくりへの工夫が必要です。

2020	こんなことがありました
4 月	高校コース入学式（オンライン）
5 月	新プログラムスタート、スポーツ交流会
6 月	北区教育委員会と協働での親の会（年間 14 回開催）
7 月	2019 年度旅立ち祭
8 月	北区情報交換会、担任説明会、夏休みの短縮
9 月	初等部「外遊び」プログラム開始、東京成徳大学実習生受け入れ、北区不登校&進路相談会
10 月	35 周年記念イベント、スポーツ交流、ガチカラ講座、ハロウィン
11 月	性と生を学ぶ講座
12 月	北区情報交換会、クリスマス会
1 月	新年会、シリーズ人間、アメリカプロジェクトでクローンラスクールとオンライン交流
2 月	スキー合宿（中止）、35 周年卒業生保護者シンポ、性と生を学ぶ講座
3 月	活動発表会、旅立ち祭、高校コース卒業式

(2) 新宿シュレー

事業費 2,006 (1,857) 万円

新型コロナの感染予防のため、4 月 5 月にスペースをお休みしました。その間、オンラインでフリースペースを行い、ネットで行えること、やりやすさもありますが、スペースで会えることの大切さも思う年でした。10 月より建物を全部使えることになり、スペースが広がりました。

① 35 周年祭 新宿シュレー 25 周年祭

- ・実行委員会には、オンラインでの実行委員会に多くの会員が参加しました。
- ・バンドや歌など映像を作って発表にしたり、ジオラマを製作して、ファイバースコープで発表したり、その他、展示、歴史まんが、映像制作を担当しました。
- ・歴史まんがや映像制作は、コロナの影響もあって完成しなかったもので、次年度も続きます。

② 多様な学びの充実

- ・中等部の基礎講座、英会話、社会講座、高校コースレポートサポート講座、高認対策講座、大学受験対策講座を行いました。
- ・パソコン講座を 12 回シリーズで行い、Word と Excel を基礎から学びました。
- ・性と生と体の講座を 2 回シリーズで行いました。
- ・子どもの権利講座を毎週行い、自分たちの経験を出しあったり、生活についてのアンケート調査や海外の差別について調べるなど活動しました。
- ・新型コロナの影響で、スペースまで通いづらい人のためにオンライ講座を行いました。

③ スペースの拡大について

- ・スペースが広がり、1 階がフリースペースになりました。同時に複数の活動ができるようになりました。2 階は 35 周年記念の映画撮影用スタジオとして使いました。
- ・LINE スタンププロジェクトを立ち上げ、みんなのイラストで LINE スタンプを制作しました。

④ 課題と今後

- ・環境整備：映画完成後は、さまざまな活動に使えるような居場所作りをしていきます。
- ・会員増に向けて：説明会会場を王子から新宿に変えて実施しました。見学に来て、なかなか入会につながりませんでした。それぞれの家庭とつながっていけるよう取り組みます。

2020	こんなことがありました
4 月	スペース閉室、オンラインシュレー、通信作り
5 月	スペース閉室、オンラインシュレー、高校コース入学式
6 月	開室、通信作り、LINE スタンプを制作
7 月	25 周年祭
8 月	20 年度旅立ち祭、担任見学会、東京スクーリング
9 月	通信作り
10 月	35 周年祭、フリースペースを 1 階へ引っ越し
11 月	性と生の講座、通信作り
12 月	クリスマス会
1 月	オンラインシュレー、通信作り、東京スクーリング
2 月	卓球大会
3 月	旅立ち祭、性と生の講座、通信作り

(3) 流山シュレー

事業費 1,392 (1,452) 万円

流山シュレーとしては6年目、前半は、コロナウイルス感染拡大防止のため閉室が続き入会状況にも影響がありました。日常活動にも制限があり子どもが毎年楽しみにしていた「お泊り会」・「料理」や「おやつ講座」もできませんでした。ただそのような状況での子どもミーティングは、どのように過ごすかなどが熱心に話し合われました。その結果、「何かやる日」の過ごし方やボードゲーム等の環境が充実しました。高校コースは、今年度入学の3名が加わり計5名となりました。

① 広報活動

9月の「フリースクール無料開放キャンペーン」は、2週間開催しました。

② 何かやる日・サークル活動

週4日の算数・数学学習会が定着しました。ゲーム大会は計画的に継続開催され盛り上がりま

した。高校コースでは自主的に学習を進める様子が見られました。オンラインフリースクールでは子どもたちの自主的な活動で充実しました。ミーティング力がつきました。

③ 千葉県フリースクール等ネットワーク(CFN)

「ゲーム交流会」は、オンラインで開催され交流も広がりました。

千葉県不登校児童生徒情報交換会は、「子どもと親のサポートセンター」にて開催され参加しました。「千葉県不登校条例」に向けての活動が開始しました。

④ 課題と今後

地域に活動を知っていただき、入会者も増やしていくための広報活動が課題です。

2020	こんなことがありました
4月	閉室・オンラインフリースクール CFN オンライン交流会
5月	閉室・オンラインフリースクール
6月	「清水公園」ゲーム大会
7月	ゲーム大会 人狼
8月	カードゲーム大会
9月	面接指導「フリースクール無料開放キャンペーン」清水公園・ゲーム大会
10月	保護者面談 スポッチャ ゲーム大会 公園 35周年祭 避難訓練
11月	保護者面談 ゲーム大会 清水公園
12月	クリスマス会 CFN ゲーム大会 15ミーティング
1月	ゲーム大会・高校スクーリング オンラインフリースクール
2月	ゲーム大会・高校定期試験 オンラインフリースクール
3月	旅立ち祭 清水公園・ゲーム大会・オンラインフリースクール

(4) 大田シュレー

事業費 1,479 (1,857) 万円

- ・ 2020年度はコロナの中でオンラインでの様々な活動を行いました。(オンラインシュレー、大田シュレー2周年祭、東京シュレー35周年祭、ナイキインタビューなど)
- ・ 子どもたちから発案されたことが、日常のプログラムに位置づき、プログラムに幅が出ました。(いきものクラブ、仮面ライダー部、YouTubeプロジェクト など)
- ・ 体・性に関する講座「ガチカラ講座」を1年間行いました。
- ・ コロナの影響もあり、退会者や正会員から準会員への移動が大変多い年でした。

① オンラインシュレー

コロナの影響により、今年度はオンラインによる活動を行いました。講座、ゲーム大会、ミーティング、テュートリアルなどをオンラインで行いました。ただ、初めてのことであり、課題も多く残りました。

② 35 周年祭

9 月には 35 周年祭に向けてのプログラムをつくり、35 周年に取り組みました。ステージ、作品展示などを中心に組みました。

③ 「ガチカラ講座」の開催

保護者の方に講師をお願いし、性について学ぶ「ガチカラ講座」を 1 年間かけて取り組みました。体のことから性被害などについて幅広い内容が出来ました。しかし、参加人数が少なく、参加自由なフリースクールで、大人として伝えたいことをどのような関心を持ってもらうかに課題が残りました。

④ 実行委員会

ハロウィン、クリスマス会などスペース内での実行委員会を子どもたちが自主的ににかかわることが出来るようになってきました。今後は、広がりを持っていきたいと思います。

⑤ 課題と今後

・ミーティングのやり方と子どもたちの参加について

ミーティングに参加することが難しい子どもたちが増えています。子どもがつくるということでミーティングはとても大事で中心的な活動であるので、その意義、意味を子どもたちと確認しながら進めていきます。

・継続した講座のつくり方と参加について

「講座」やプログラムがやりにくい状況があります。参加が自由な場でどのようなやり方で行うと、やりたいことが継続的に行っていけるか、課題を多く感じました。

2020	こんなことがありました
4 月	オンラインシュール開始
5 月	大田シュール 2 周年祭（オンライン）
6 月	
7 月	ベランダ小屋完成
8 月	担任見学会
9 月	35 周年に向けてのプログラム（ステージの練習、ジオラマ制作、展示用の作品制作、大田紹介ビデオの制作 など）
10 月	35 周年祭 いきものクラブ、YouTube プロジェクト開始
11 月	ハロウィンパーティ
12 月	クリスマス会
1 月	オンラインシュール、「ネフライトさんに会おう」計画始動
2 月	
3 月	旅立ち祭

（5）シュール大学

事業費 946（1,911）万円

シュール大学はスペースの移転と新たな環境の整備を掲げ 2020 年度をスタートしましたが、8 月末を持って活動を休止することとなりました。この経緯は、2 月に学生によるストーカー行為を伴う暴行および傷害、器物損壊等の事態の発生を受け、学生・スタッフの安全が脅かされる事態と受け止め、理事会は第三者調査委員会を立ち上げ事実関係の調査を行い、4 月報告及び提言を受けました。それに基づき、被害者のケア、学生とスタッフ及びフリースクールの子どもの安全を守るための体制の見直し、再発防止に向けた対策、スタッフの行動ガイドライン等の策定に取り組むこととしましたが、現場スタッフや被害者との理解の差が埋まらず、シュール大学の中心的スタッフが辞表を提出、伴って学生全員が大学を退会し新しい大学を別団体として設立しました。理事会では、学生の独立については応援の気持ちから、シュール大学のこれまでの活動の成果物、制作物、図書、PC、映像機材、備品などの承継、会費前払い 9 月分返金などの要望を了承しました。

以上の経緯は、保護者会・子どもミーティングにおいて「スペースの安全に係る説明」として報告し、スペースの安全を確保するための方針と施策を示してきました。総会で認めて頂いたシュール大学事業の計画は変更し、年度内は問い合わせ等の窓口対応のみとし、その後、理事会で事業の在り方を検討した結果、年度末で活動を廃止することとしました。

■ 4 ホームエデュケーションネットワーク運営事業

事業費 1,597 (1,685) 万円

- 年度を通じてコロナ禍の影響を受け、主だったリアル交流機会である「全国合宿」「地方サロン（名古屋・福岡・大津）」「自主サロン」「一日フリースクール」「オフ会」のほとんどが中止となりました。
- 高校コースの北海道スクーリングが感染拡大のため中止になり、都内で代替スクーリングを実施しました。
- 感染予防対策をした小規模な会合やオンライン配信を可能とするため、11 月、東京都葛飾区内「ホームシューレ立石 BASE（立石ベース）」に拠点を移しました。
- 35 周年に向けた展示・映像準備をオンライン上で実施。その後も zoom 練習会など保護者の自主的な活動がありオンライン交流が広がりました。

2020	こんなことがありました
4 月	6 日：高校コース入学式延期
5 月	9 日：高校コース入学式 名古屋サロン中止
6 月	一日フリースクール中止
7 月	全国合宿中止、4 日：全国ネット「HE シンポジウム」（オンライン）、30 日：高校コース特別活動（オンライン）
8 月	18 日～19 日：高校コース代替スクーリング（都内）
9 月	大津サロン中止
10 月	35 周年オンラインイベントで展示・映像参加、立石への引っ越し作業
11 月	上旬：立石 BASE に拠点を移動。22 日：立石 BASE お披露目会（オンライン）
12 月	17 日：立石 BASE で保護者交流会、18 日：「プラネターリウム銀河座」（特別活動）
1 月	10 日～11 日：高校コース代替スクーリング(ゴルフ体験ほか)
2 月	9 日、20 日：オンライン交流会、福岡サロン中止
3 月	15 日：高校コース卒業式、20 日：オンライン交流会

① 休眠預金活用申請中の「アウトリーチ事業」をスタートさせ、外出の難しい会員家庭に若いスタッフを養成して派遣する

休眠預金申請は不採択となってしまいました。コロナ禍により、派遣という態様が困難になり、代わりにコロナ終息後を目指して「オンラインゲーム交流事業」を準備しました。

② 保護者と年長会員を対象に Amazon 社と協働して就労体験を実施する会員誌の内製化

感染予防の観点から 2020 年度は見送りました。

③ IT を活用した学習サポートの利用者を拡大する

オンライン学習システム『すらら』を利用した学習サポートは微増。ZOOM を使ったオンライン英語コース（入門・基礎の 2 コース）も微増しました。

④ 課題と今後

オンライン交流機会の拡大

- ホームエデュケーションを知ってもらい、保護者どうしのストレスを緩和するために、保護者向けのオンライン交流を定例化して実施したい。

子どもたちの多くが利用しているオンラインゲームで対人関係のニーズに応えられるよう、保護者も巻き込んだ交流支援を実施していく。

リアル交流機会の復活と促進（コロナ終息後）

- 新拠点「立石 BASE」を活かしたリアル交流機会の活性化。
- 各地の自主サロンやオフ会の復活と奨励。

■ 5 高校コース事業

事業費 180 (670) 万円

2020 年度入学生は 17 名、在籍者数は 52 名。年度末に 10 名が卒業しました。

- ・本校スクーリングは、コロナの影響により北海道での実施が困難になり、東京で実施しました。
- ・日常のレポートサポートについては、フリースクールコースではスタッフや非常勤スタッフの体制を厚くし、個別対応も行いながら進めました。
- ・進路は、高校コースによって、大学・専門学校進学、進学準備などしやすい状況ができてきています。
- ・フリースクールをベースにした高校コースですが、単位取得に必要な活動のみ参加する会員もあり、個々に応じた関係づくりや学習サポートが重要になっています。
- ・ホームシュレコースは、スクーリングがメンバーが出会い、さまざまなプログラムを体験する貴重な機会となりました。
- ・通信制高校の質の確保をめざした国の調査や方針に添って本校や和寒町に協力し改善を図る体制をとりましたが、コロナの影響も加わり、スクーリングが難しい状況がありました。
- ・上記の困難さから、スタッフと理事会では、札幌自由が丘三和高等学校との教育提携の見直しの検討や新たな提携先の研究を行いました。

■ 6 公民連携事業

(1) 世田谷区教育支援センター ほっとスクール「希望丘」運営委託事業

事業費：3,841 (2,156) 万円

2020 年度も、2019 年度同様、定員オーバーの為、9 月で見学受け入れをストップしました。年度末の最終的な登録人数は、小学生 51 名・中学生 57 名でした。コロナの影響もあり、2 部制 (9:30~12:00 : 小学生タイム、12:30~15:00 : 中学生タイム) を導入し、朝・昼・夕の 3 回消毒を行いました。2 部制を導入したことで、子ども達の滞在時間は減りましたが、落ち着いた活動を創ることができました。新型コロナウイルスに感染した子ども・スタッフが 1 名ずついましたが、日々の対策が徹底できていたため大きな混乱はありませんでした。

① 学びの充実

小学生では、学びタイムを導入し、「学ぶことが楽しい」と思えるような時間を創りました。また、経産省の助成金を利用して導入した「キュービナ」という算数・数学アプリでは、AI の力を借りて、効率的に学習することができました。(17 名が平均 117.7 問に挑戦しました！)

② プロジェクト・サークルタイム

5 つのプロジェクト(「木の家づくり」「木を植える」「PC づくり」「ボードゲームづくり」「大きな絵を描く」)活動と、3 つのサークル(「ガーデン部」「ダンス部」「アクセサリサークル」)活動が生まれました。

2020	こんなことがありました
4 月	緊急事態宣言により閉室
5 月	緊急事態宣言により閉室
6 月	分散通室スタート
7 月	マイクラ鬼ごっこ・おわりのつどい
8 月	学校訪問・担任見学連絡会
9 月	はじまりのつどい・プロジェクトサークルタイムスタート・化石発掘・合同進路説明会・プラレール
10 月	ハロウィンパーティー・スペシャルまなム(学びタイム)・防災訓練・エドテックワークショップ
11 月	大縄跳び・水引きアート・染め物・AmongUS 大会
12 月	プラレール第 2 弾・生と性の健康講座・クリスマス会・おわりのつどい
1 月	シリーズ人間(岡田雅樹さん(第 58 次南極地域観測隊副隊長)・まちづくり・屋台ごっこ・木の家づくり
2 月	2 周年を祝う会・趣味を紹介・人狼大会
3 月	Wii スポーツ大会・卒業を祝う会(小学生)・旅立ち祭

③ 進路づくり：個別と小グループでの活動を通しての自己理解

毎月の「15（いちご）ミーティング」や、「作文講座」「個別タイム」を通して、中学卒業後の進路を考える上での情報提供を行ったり、みんなで中学卒業後をイメージする時間をもったり、自分が何が好きで何が得意のかなど自己を理解する支援を行いました。2020 年度は 23 名の中学 3 年生が、それぞれ、自分の進路を考え旅立ちました。

④ 課題と今後

・ 活動づくり：滞在時間が短い中で、「あそび（余裕）」のなさ

2 時間半という短い滞在時間の中で、プログラムが隙間なく詰まっていることで、プログラムに参加したい子どもやスタッフにとって、やりたいことをやりたいときにできる余裕がありませんでした。2021 年度は、もっと「あそび（余裕）」をつくり、やりたいことをやりたいときにできる環境づくりを考えます。

・ コロナ対応

区の委託を受けていることもあり、検温や滞在時間の確認や消毒の徹底に、時間と人手を割くことになりました。

・ スタッフの業務

区へ提出する書類も非常に多く事務作業に時間をとられることや、2020 年度に常勤スタッフが 5 名から 7 名に増えたこともあり、スタッフ全員で状況を共有する時間が足りなくなりました。

（2）北区政策提案協働事業

事業費 166（165）万円

「北区子どもの多様な育ちを支援する地域連携事業」として、3 年間の最終年度を完了しました。①公民連携・民間 NPO どうしの連携による学習会・情報交換会（2 回、のべ 144 名参加、北区立小中学校各校教員研修と位置づく）、②情報提供ホームページ作り、③不登校&進路相談会（北とぴあ：166 名来場）、親の会とフリースペースの開催（年間 14 回）、適応指導教室へのプログラム提供（絵画講座とリズムワークショップを各 1 回）を実施しました。この成果によって、区は 2021 年度北区教育委員会事業として親の会・イベントの開催運営を民間 NPO に委託実施することを決定しました。

■ 7 フリースクール スタッフ養成・創業支援プログラム （石橋財団助成）

事業費 230（419）万円

全国にフリースクールを増やしていく取り組みとして、石橋財団から助成を受け、5 年間で 10 名の日本各地で活躍するフリースクールスタッフを養成するプログラム第 2 期奨学生 2 名（インターンスタッフ）、創業支援プログラム第 1 期一般社団法人ミチシル（静岡県裾野市）を実施しました。中間報告会（4 月）、修了報告会（8 月）、ミチシル 1 周年記念イベント支援（6 月）など、オンラインを活用して行いました。計画では 10 月からそれぞれ第 3 期、第 2 期のプログラムを継続する予定でしたが、コロナ上、受け入れ態勢を考慮して半年の順延を決めました。

■ 8 その他の活動について

本部事業・管理費 4,093（4,882）万円

（1）新型コロナウイルス感染拡大防止、ウィズコロナの中での活動

- ① **フリースクール閉室・時短開室** …3 月～5 月末の緊急事態宣言下はスペース閉室・スタッフテレワークを実施、開室後は 10:30～15:30、10:00～16:00 など時短開室
- ② **感染予防対策** …検温・消毒、手洗い、マスク着用、三密を防ぐ、黙食、部屋定員の設定、ミーティングでの注意喚

起など通年で実施

- ③ **オンラインフリースクール、交流** …閉室期間は Zoom を中心としたオンライン活動、オンライン実行委員会、オンライン保護者会、オンラインホームシュールサロン等を実施
- ④ **新型コロナウイルス対応緊急会費減免支援** …4 月～7 月、1 月～3 月、緊急寄付募集を行い 1,000 万円以上の寄付を得て、34 会員から申請を受け 32 会員の減免支援を実施
- ⑤ **スタッフ** …テレワークの導入、テレワーク助成活用による環境整備

(2) 保護者会/親の学び合い・相談/若者支援/スタッフの研修等の活動

- ① **フリースクール保護者会** …保護者会年 11 回開催（リアル開催 2 回、オンライン 7 回）うち合同保護者会を 7 月（OBOG シンポ）、12 月（テーマ別分科会）
- ② **フリースクール説明見学会** …入会希望の保護者対象に王子シュールと新宿シュールで計 11 回開催しました（4 月はオンライン開催、5 月、6 月はオンライン併用）。
- ③ **相談電話・来訪相談** … 平日月～金 14:00～17:00、相談電話は常設実施しました。
- ④ **親ゼミ・親の会** …毎月第 3 日曜日午前に親ゼミを年間 10 回開講。「登校拒否を考える会」（王子）、流山親の会、大田親の会、葛飾親の会は連携して各会月 1 回リアル開催（4 月は中止）、合同で通信を発刊しました。
- ⑤ **土曜サロン** …毎月第 1 土曜日 14:00～17:00 にひきこもり当事者の交流サロンを年 7 回実施し、3 月で終了しました。
- ⑥ **スタッフの研修・研究** …各学期ごとの NPO 法人スタッフ研修、学園スタッフとの合同研修、人権研修「ストーカーについて」（牧田史弁護士）、「（性的）加害と責任についてーとくに社会的責任の観点から」（人権委員長大谷恭子弁護士）、多様な学び実践研究フォーラム・JDEC 日本フリースクール大会、未来の先生フォーラム、全国ネット連続講座等への参加、初等部研究会、遊び・スポーツ研究会、ストレッチ活動等

(3) 担任見学会、一般対象の研修・講習会、視察等

- ① **フリースクール担任見学会** … 全スペースで、フリースクール生の在籍校の担任や SC・SSW 等を対象に夏休みを利用して見学会を開催
- ② **一般見学会や視察の受け入れ** …説明見学会のほか、東京成徳大学大学院生実習 5 名、東京しごとセンターインターン、神戸市役所視察等の受け入れ
- ③ **出張実施・企画実施・派遣等** … ミチシル 1 周年、多様な学び実践研究フォーラム・JDEC 日本フリースクール大会など

(4) 東京シュール 35 周年祭・江戸川小学校開校記念イベント

- ① **開校ファンレイジング・開校準備** …2019 年 12 月からクラウドファンディングを実施、延べ 122 人、2,376,500 円を達成、フリースクールからのつながりでアマゾンジャパンがステンドグラス風窓、コーナー設置支援
- ② 10 月 4 日メインイベント開催 … 子ども実委、保護者・スタッフ実委で準備、江戸川小学校にアマゾン社トラックステージの提供を受け王子・新宿・大田・流山・葛飾をつなぐオンラインイベントを実施しました。開校記念式典に江戸川区長、町会長、記念講演に汐見稔幸さん、OBOG4 人のシンポジウム、OBOG からのビデオレター上映など。
- ③ 記念 T シャツ制作頒布 …51 色 17 サイズ、エコバッグとセット 200 組制作・頒布し、333,706 円の寄付をいただきました。
- ④ 2 月 11 日 OBOG 保護者シンポジウム開催 …オンラインで 4 名の元保護者にご登壇いただきました。
- ⑤ 映画『フリースクールなう』自主制作 …2021 年 8 月完成予定
- ⑥ 東京シュール 35 年の歴史マンガ制作 …2021 年 8 月完成予定
- ⑦ 記念誌制作 …2021 年 8 月完成予定

(5) 会費等の減免・東京シュール奨学基金による経済支援

- ① **入会金免除、会費・学費の減免制度** … 家庭からの申請による会費学費の減額をあわせてコロナ対応減免を含めて

48 家庭 6,445,650 円の減免支援を行いました。

- ② **東京シューレ奨学基金** … 上記の減免は基金により実施しました。奨学基金は寄付金によって成り立っており、寄付受入れ 7,826,320 円、期末残高 13,800,670 円でした。

(6) 性暴力加害事件・和解裁判の検証と再発防止の取り組み

東京シューレは、1998～2000 年度に主催していた宿泊型フリースクール活動において、当時のスタッフによる性暴力加害を起こしてしまいました。被害者の方には、心身ともに傷つけ、その後の人生に多大なご負担をおかけしたことをあらためて深くお詫び申し上げます。

2016 年提訴を受け 2019 年 7 月和解に至り、和解での合意事項であった「子ども等の人権の保護に関する委員会（以下、人権委員会）」（委員長：大谷恭子弁護士）を設置し、再発防止の体制づくりと取り組みの施策を推進してまいりました。この経過は、2020 年 2 月の朝日新聞報道をきっかけに保護者会で報告、5 月 10 日理事会にて事件概要を共有、5 月 23 日理事会、6 月 13 日総会にて、事件の検証・共有と施策の取組を進めることを確認し、人権委員会の構成も可能な限り第三者性が持てるよう構成員から理事長と事務局長を外し、さらに外部委員も増やすことを 8 月 28 日理事会にて規程変更を行った上で、人権委員会のもとに「検証部会」を設置し検証作業に取り組みました。

検証作業は、当時の「ログハウスシューレ会員」、元原告被害者の方ともコミュニケーションを取りながら進め、SNS 公開の形でご要望書をいただきました。それを受けて、11 月 14 日理事会にて、「検証部会」を改組し外部委員のみで構成される「第三者調査検証委員会」を立ち上げ、外部による検証と提言を求めることとしました。また理事会では裁判資料の確認や共有を進めました。

① 「検証部会」による取り組み

(ア) 調査検証の目的

以下の 5 点について検証し、東京シューレの活動において、再び人権侵害・性加害を起こさないために、何にどう取り組むべきかを明らかにし再発防止策をより強化するとともに、重大な事件・事故が起こった場合（あるいは起こりうると想定した場合）には、関係者や社会に対してどのような対応を行うべきかを明らかにすること。

1. ログハウス建設当時の状況
2. 宿泊型フリースクール「ログハウスシューレ」事業当時の状況
3. 「ログハウスシューレ」終了から提訴までの状況
4. 提訴から和解までの裁判の状況
5. 和解後の東京シューレの組織としての対応

(イ) 調査検証計画および進捗状況（2020 年 11 月まで）

1. ログシューレ当時の日誌等紙媒体によって残されているものの検証
2. 本件の裁判記録から判明することの検証
3. NPO 法人東京シューレ・学校法人東京シューレ学園のスタッフ（常勤、非常勤）、役員（理事、監事）への書面ヒアリング（WE B または書面）
4. 「ログハウスシューレ」参加者本人およびその保護者に協力願いを送付し、協力の旨のご回答のあった方に書面ヒアリング（WE B または書面）
5. 書面ヒアリングの追加を求めたい方、当時関与した退職者を含むスタッフ、当時の保護者を含む参加者、関係団体・関係者等に対面ヒアリング
6. 元原告被害者の方への検証協力のお願い（代理人を通じて依頼し、協力のご意向と検証にあたっての 10 項目のご要望をいただきました）

② 「検証部会」から「第三者調査検証委員会」への改組について

人権委員会は、子ども等の人権保護の「施策」を推進する目的に重きを置いて発足しましたが、発足後、人権侵害の事案にたいしては、法人から独立した第三者による調査委員会によって調査ができる体制を整備しました。

この体制のもと、人権委員会は検証部会にて上記調査を進めてきましたが、11 月に元原告被害者の方から人権委員会への要望書（SNS 上で一部公開）と外部有識者の意見などを踏まえ、新たに第三者調査検証委員会を設置して調査

を行うべきであるとの結論に達し、理事会へ検証体制の改組を提案し決定されました。結果の信頼性のみならず、検証過程においても透明かつ公平であることが、被害者の方並びに様々な形でかかわってくださっている方々、ひいては社会全般に対し責任ある態度であると重く受け止めることとなりました。

第三者調査検証委員会は弁護士・社会福祉士、国際子ども権利団体代表・大学教授、子ども若者支援団体代表・ソーシャルワーカー、性暴力被害者支援団体代表の 4 名で構成しました。

「検証部会」は、部会段階における調査検証をまとめ、第三者調査検証委員会に引き継ぎました。

③ 「第三者調査検証委員会」の取り組み

理事会は委員会に 2021 年度総会を目途に報告を求めていましたが、膨大な資料・情報と問題の重大性により検証の進め方、計画、速度については第三者調査検証委員会に任せ、検証作業が進行していました。理事会は 2021 年 3 月、委員会の求めに応じて、理事が全裁判記録を共有した上で利害関係者理事を除く審議体制を徹底し、再度、検証の目的・範囲・論点を下記のように明確にして諮問することとしました。

【検証目的】

東京シュレーの活動において、再び人権侵害・性加害を起こさないために、何にどう取り組むべきかを明らかにし再発防止策をより強化するとともに、重大な事件・事故が起こった場合（あるいは起こりうると想定した場合）には、関係者や社会に対してどのような対応を行うべきかを明らかにすること。

（ア）【検証の範囲】

- ① 裁判の対象となったログハウスシュレー性加害事件（以下本件という）
- ② ログハウス建設事業、ログハウスシュレー事業、提訴後、和解後

（イ）【検証論点＝諮問事項】

- ① ログハウス建設過程が本件に影響を与えているか否か、与えているとしたらどのような影響があるか
- ② 宿泊型フリースクール「ログハウスシュレー」事業の事業実施の形態および当時の東京シュレーの意識状況
- ③ 本件発生に影響を与えたことには何か、それはどのような影響を与えていたのか
- ④ 「ログハウスシュレー」終了は本件発生を原因としているか否か、原因の一部としても認められるとしたら、
- ⑤ その判断は適切だったか否か、および終了から提訴までの間のシュレーの対応は適切なものだったのか否か
- ⑥ 提訴から和解までの裁判の過程における東京シュレーの対応は適切なものだったのか否か
- ⑦ 和解後の東京シュレーの組織としての対応は適切なものだったのか否か

※人権委員会「ログシュレー性暴力加害事件検証報告書」および第三者調査検証委員会回答書

2021 年 6 月 10 日に上記報告書および回答書が理事会へ提出され、それを受けて、奥地圭子理事長が退任、事務局長であった中村国生理事が辞任に至った旨を 6 月 24 日ホームページ公表しております。

④ NPO 法人フリースクール全国ネットワークによる基本指針と調査検証について

NPO 法人、学校法人の両東京シュレーが加盟している NPO フリースクール全国ネットワークは、7 月「加盟団体（東京シュレー）における性加害およびフリースクール全国ネットワークとしての人権侵害再発防止対策についての基本指針」を公表、9 月奥地は代表理事および理事を辞任、11 月「子どもの人権擁護に関する調査検証委員会（調査検証委員会）」が設置され、東京シュレーは、フリースクール全国ネットワークが示す基本指針および調査検証委員会報告を真摯に受け止め、それに従って尽力するとともに、子どもの権利擁護の取り組みを積極的に推進するよう努めていくことを表明しました。

（7）スペースの安全に係る取組

シュレー大学における事件の第三者調査委員会からの提言を受けて、理事会および人権委員会は、事件概要とスペースの安全に係る取組について保護者説明会（10 月）を開催し、子どもミーティングでも考え合う機会を持ちました。かねてよりスペース出入口の安全については保護者会でご意見もいただいております。開室時の常時施錠とそのために必要なロック施工を実施しました。（流山スペースは住居マンション型のため既設）

(8) 学校づくり・フリースクール公教育化の活動(東京シュール江戸川小学校開校準備)

江戸川区の廃校を借用して「東京シュール江戸川小学校」の設置認可申請が具体的に進み、東京都から認可を得て今春開校できました(初年度4~6年51名定員、28人で開校)。NPO・学園が合同の学校づくり委員会で検討を重ね、学校法人が認可申請に当たりました。また、学びの中身は「初等部研究会」を合同でつくり研究しました。

NPO 法人のファンドレイジングチームがクラウドファンディングの企画を担当し支援者 122 人、総額 2,376,500 円(目標 200 万円)を実現し、NPO 法人東京シュールとして 100 万円の寄付も理事会で決定し、グラウンド整備や設備・備品のための資金を支えました。これらの活動費は朝日ライフアセットマネジメント社様からの寄付助成を活用させていただきました。

(9) 普通教育機会確保法、フリースクールの公的支援諸施策の活用や政策提案

① 普通教育機会確保法の周知、国・自治体のフリースクール等支援の促進

- ・ 保護者会、子どもミーティング、スタッフなどシュール内での情報提供や理解を深めました。
- ・ 2019 年度に制作されたドキュメンタリーDVD『不登校を経験した私たちが見た 不登校の歴史と今〜不登校の子どもの権利宣言 10 周年プロジェクト』を、登校拒否・不登校を考える全国ネットワークが増刷し全国各地の教育行政、教育研究機関、医療機関等に配布し、理解の促進を図りました。
- ・ フリースクール全国ネットワーク、多様な学び保障法を実現する会との連携、議員連盟との連携で、法の周知や施策の活用、公民連携を推進し、12 月 8 日には議連総会が開催され、合同で要望書を提出しました。
- ・ 東京都フリースクール等ネットワーク(TFN)、千葉県フリースクール等ネットワーク(CFN)の一員として、交流や学習会、イベント等を通じて自治体政策に働きかけました。TFN では 11 月 1 日に『学びを選ぶ時代』刊行、記念イベントのオンライン開催を実施しました。CFN では、流山シュールの子どもたちが県議会議員連盟学習会で、不登校・フリースクール経験を発表する機会を持ちました。

② 世田谷区事業・北区事業を通じた公民連携の推進(前掲)

(1) NPO・地域や企業・財団等との連携・協働

① NPO・地域連携

フリースクール全国ネットワーク、不登校・登校拒否を考える全国ネットワーク、登校拒否を考える会、多様な学び保障法を実現する会、東京都フリースクール等ネットワーク、千葉県フリースクール等ネットワーク、北区子ども・若者応援ネットワーク、大田区 NPO 団体交流会などの構成員として連携して取り組みました。また、北区では協働事業を通して子ども支援者団体と密接に情報交換を行い、フリースクールへの入会にもつながりました。

② 企業・財団等連携

企業・財団による社会貢献や寄付助成プログラムと連携し、資金、人材、教育資材、学習体験機会などの提供をいただき、協働による持続可能な社会づくりとしての交流も進みました。(敬称略で表記)

- ・ 公益法人石橋財団：フリースクールスタッフ養成・フリースクール創業支援プログラム
- ・ 朝日ライフアセットマネジメント株式会社：フリースクールの学校づくり・公民連携等新しい学びの開発
- ・ ボーイング ジャパン：デジタル、STEM/STEAM 教育
- ・ セールスフォース・ドットコム：データベース構築と運用
- ・ アマゾン ジャパン：35 周年記念事業、江戸川小学校環境整備
- ・ 日本産業パートナーズ：スタッフ派遣
- ・ ナイキ ジャパン：スポーツ施設提供、スタッフ研修
- ・ ほのぼの運動協議会：フリースクール活動

その他、幸栄不動産、ほのぼの運動協議会、東京シュール出版、ツナガルラボ、創造集団 440Hz、北区社会福祉協議会、日本 NPO センター・テックス・パブリックリソース財団・GiveOne、北区市民活動推進機構など。

■ 9 団体の運営に関する報告

(1) 組織

- ① **NPO 年間会員数** () は昨年度年間… 会員 379 (379) 名、支援会員 60 (60) 名、賛助会員 0 (2) 法人
- ② **総会運営**… 通常総会 2020 年 6 月 13 日 (土) 開催
- ③ **理事会運営**… 定例理事会 11 回、臨時理事会 9 回
 - ・ 4 月 11 日 (土) 会計報告／新型コロナウイルス対応／会費学費等の減免等／スタッフ人事・採用／2020 年度事業計画予算ほか
 - ・ 4 月 18 日 (土) シュール大学事件調査報告・提言／新型コロナウイルス対応／非常勤スタッフ就業規則ほか
 - ・ 5 月 10 日 (土) 会計報告・監査報告／新型コロナウイルス対応／スタッフ採用・人事／総会開催／事業計画予算／人権委員会（シュール大学案件の報告・対応、性加害事件・裁判案件の報告・対応、第三者調査委員会細則）ほか
 - ・ 5 月 23 日 (土) シュール大学案件／性加害事件・裁判
 - ・ 6 月 13 日 (土) 会計報告／予算執行／総会運営／新型コロナウイルス対応・減免／35 周年イベント／北区政策提案協働事業ほか
 - ・ 6 月 21 日 (土) シュール大学案件・スタッフの進退
 - ・ 7 月 11 日 (土) 人権委員長要望／性加害事件・裁判の検証／シュール大学案件／人権委員会現状と今後
 - ・ 7 月 18 日 (土) 税務申告に関する監事提案／会計報告／予算執行／新型コロナウイルス対応／シュール大学について／人権委員会構成、理事会との関係
 - ・ 7 月 31 日 (土) シュール大学について
 - ・ 8 月 10 日 (土) シュール大学について／人権委員会構成、委員選任、理事会との関係／
 - ・ 8 月 29 日 (土) シュール大学活動休止／人権委員会組織／性加害事件裁判／対外発信広報、寄付募集／35 周年記念イベント／ホームシュール移転ほか
 - ・ 9 月 12 日 (土) 会計報告／予算執行／新型コロナウイルス対応／ホームシュール移転／シュール大学案件、移転・活動譲渡／人権委員会外部委員選任・規定改定、性加害事件・裁判／35 周年・開校記念イベント、寄付募集ほか
 - ・ 10 月 10 日 (土) 会計報告／予算執行／新型コロナウイルス対応／スタッフ体制／新宿シュール拡張／シュール大学案件、保護者説明会／人権委員会関係（継続審議）／35 周年・開校記念イベントほか
 - ・ 10 月 23 日 (土) 新宿シュール拡張／シュール大学案件／性加害事件・裁判検証作業／顧問弁護士選任／35 周年・開校記念イベントほか
 - ・ 11 月 14 日 (土) 性加害事件・裁判、ホームページ掲載／会計報告／予算執行／減額審査／新型コロナウイルス対応／新宿シュール拡張／シュール大学案件ほか
 - ・ 12 月 19 日 (土) 会計報告／予算執行／減額審査／新型コロナウイルス対応／テレワーク規程／性加害事件・裁判／スペースの安全対策ほか／35 周年事業／2021 年度事業／理事会学習会、次期役員改選／スタッフ養成・創業支援プログラムの募集ほか
 - ・ 1 月 9 日 (土) 会計報告／予算執行／新型コロナウイルス対応／理事会学習会、次期役員改選／2021 年度事業の方針・重点／性加害事件・裁判ほか
 - ・ 2 月 6 日 (土) 法人税・消費税の修正申告／会計報告／予算執行／新型コロナウイルス対応／理事会学習会、次期役員改選／性加害事件・裁判、ホームページ掲載／35 周年事業ほか
 - ・ 2 月 28 日 (土) 性加害事件・裁判、ホームページ掲載
 - ・ 3 月 6 日 (土) 会計報告／予算執行／新型コロナウイルス対応／2021 年度事業計画／高校提携の見直し／性加害事件・裁判（ホームページ掲載、人権委員会、第三者調査検証委員会への対応）／旅立ち祭ほか

- ④ **委員会運営**・・・ 財政委員会、給与待遇改善委員会、子ども等の人権の保護に関する委員会、PC ネットワーク・情報セキュリティ委員会、ファンドレイジング・チーム、ブランディング委員会、
- ⑤ **スタッフ体制**・・・ 常勤スタッフに加え、年間を通じて週 3 日以上程度勤務するサポートスタッフ、非常勤スタッフ（週 1～2 日）、スタッフ養成プログラムの開始によるインターンスタッフ、ボランティアで体制をつくりました。コロナの影響による閉室・時短開室となりましたが、在宅ワークやオンライン活動の開発・実施で雇用維持に努めました。日本産業パートナーズ株式会社からはスタッフ 1 名の常勤派遣をいただき支えられました。
- ⑥ **定款変更**・・・ 2018 年度総会で第 5 条事業の種類の変更を決議し、申請に添付する 2020 年度総会にて 2 年分の予算案を決議しました。認証申請には再度 2 年分の事業計画および予算を添付する必要がある、と担当と調整の結果、2021 年度の再申請を予定することとなりました。

(2) 運営・経営

① 2020 年度決算（損益）の概要

(単位：円)

科 目	特定非営利活動に係る事業		その他 収益事業	合 計
	フリースクール等 の事業	ホームステイ・インターン ネットワーク運営事業	認可保育所 貸付事業	
I 経常収益				
NPO 入会金会費	4,685,000			4,685,000
寄附金	17,088,161	127,370		17,215,531
助成金	8,229,344	30,430		8,259,774
事業収益	146,308,847	14,283,690	19,452,000	180,044,537
その他収益	4,385,144	13,650		4,398,794
基本金組入額	▲ 4,685,000			▲ 4,685,000
経常収益計 (A)	176,011,496	14,455,140	19,452,000	209,918,636
II 経常費用				
1. 事業費				
人件費計	114,039,186	11,322,904	1,924,396	127,286,486
その他経費計	61,565,148	4,654,656	6,015,631	72,235,435
事業費計	175,604,334	15,977,560	7,940,027	199,521,921
2. 管理費				
人件費計	3,447,664		200,000	3,647,664
その他経費計	8,376,508			8,376,508
管理費計	11,824,172	0	200,000	12,024,172
経常費用計 (B)	187,428,506	15,977,560	8,140,027	211,546,093
当期経常損益差額 (A) - (B)	▲ 11,417,010	▲ 1,522,420	11,311,973	▲ 1,627,457
III 経常外収益計 (C)	8,270,550	20,948		8,291,498
IV 経常外費用計 (D)	1,247,385	20,948	2,162,591	3,430,924
当期正味財産増減額 (A) - (B) + (C) - (D)	▲ 4,393,845	▲ 1,522,420	9,149,382	3,233,117
法人税等			4,341,900	4,341,900
前期繰越正味財産				▲ 109,614,709
次期繰越正味財産				▲ 110,723,492

コロナの影響により説明会・体験見学の受入が十分できなかった影響があり入会者・在籍会員数減少・準会員への変更増の影響と、シュール大学事業の休止により、NPO の通常の事業の収益が落ち込みました。費用面では、コロナ対策関係、テレワーク・オンライン活動による消耗品等が増えたものの旅費交通費などが抑えられた面もありましたが、NPO 事業全体で NPO 会費等、寄付金、助成金を合わせても経常損益は▲約 1,300 万円となり厳しい経営の年となりました。寄付金や助成金は、支援会員個人より多額のご寄付をいただきコロナや経済的な影響での退会者を防ぐことができたり、支援企業から継続の寄付助成があり、子どもの活動を維持できました。奨学基金による支援はコロナ対応を含め約 650 万円行いました。大田シュールビルの認可保育所貸付事業は、安定した収益事業となって NPO 活動を支えた一方、法人税・消費税の 3 期分修正納付約 650 万円（事業費のその他経費計に計上）など特別の大きな支出も出てしまった年度となりました。

② 収益に関する説明

- **基本金の組み入れ** … 定款および入会金・会費規程に基づき、使途特定のない一般寄付金と NPO 入会金・年会費 468 万円を基本金に組み入れました。
- **寄付金** … 通常の事業（コロナ対応含む）に 919 万円、奨学基金など特別の事業に 802 万円のご支援をいただき支えられました。うち 1000 万円は支援会員お一方からの篤志によります。
- **助成金等** … 企業財団等からの活動に対する高額の寄付助成は、特別の事業に区分しています。石橋財団 230 万円、ボーイング社 427 万円等。東京都テレワーク助成、新型コロナウイルス感染拡大防止協力金を申請通常の事業収益に計上

③ 費用に関する説明事項

- **固定費** … 人件費（給与賞与・法定福利費・福利厚生費、雑給、役員報酬は事業収益の 68%）、場所（家賃・減価償却費等は事業収益の 18%）に多くの費用を投入して活動しています。
- **コロナ対策、閉室・時短開室による影響** … 消耗品費の増、スタッフ人件費、講師料、旅費交通費、研修費等の抑制
- **支払い報酬** … 人権委員会・第三者調査検証委員会、税修正申告、労務、情報セキュリティ等による専門家委嘱等の費用が増えました。
- **事業費の租税公課** … 大田ビル認可保育所貸付事業にかかる所得税、消費税の計算と対象について修正し、3 期前に遡り 653 万 5700 円の修正納付を行いました。

④ スタッフ等の待遇改善 … 2019 年度から中退共への加入、就業規則等の整備、賃金規定の改善案をまとめ 2020 年度より導入（コロナの影響を配慮しスタッフの協力を得て執行を半年間順延）しました。労働時間や長時間活動など働き方の改革は依然として課題です。

⑤ 施設・設備・備品

- **本部・各スペース部門** … テレワーク助成等を活用して、パソコン・ネットワーク設備の入替や増補
- **王子シュレー** … 屋上フェンス整備、駐輪場契約、デジスタスペースの 2021 年度返却決定、出入口施錠施工
- **新宿シュレー** … 映像制作機器、シュレー大学休止による拡張整備、倉庫移転、出入口施錠施工
- **流山シュレー** … スペースの内装改装
- **大田シュレー** … 出入口施錠施工
- **ホームシュレー** … 葛飾区立石移転契約と整備
- **世田谷ほっとスクール「希望丘」** … Wi-Fi 整備

■ 10 決算に関する報告

次ページをご覧ください。

(1) 2020 年度活動計算書 (2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

(単位:円)

科 目	特定非営利活動に係る事業		その他 収益事業	合 計
	フリースクール等 の事業	ホームエデュケーション ネットワーク運営事業	認可保育所 貸付事業	
I 経常収益				
1. 受取会費 NPO入会金会費	4,685,000			4,685,000
2. 寄附金 一般寄附金	794,514			794,514
	特定寄附金	127,370		16,421,017
3. 助成金 助成金	8,229,344	30,430		8,259,774
4. 事業収益 入会金・会費等	94,423,751	13,164,378		107,588,129
	施設整備費	5,626,365		5,626,365
	講習会・補助活動事業等	844,733	1,119,312	1,964,045
5. 提携事業収益	6,998,937			6,998,937
6. 賃貸料収益			19,452,000	19,452,000
7. 受託事業収益	38,415,061			38,415,061
8. その他収益	4,385,144	13,650		4,398,794
9. 基本金組入額	▲ 4,685,000			▲ 4,685,000
経常収益計	176,011,496	14,455,140	19,452,000	209,918,636
II 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費 役員報酬				
	給与手当(通勤手当含む)	9,903,916	1,653,484	106,891,188
	退職金及び掛金		18,000	4,842,675
	法定福利費	1,418,988	252,912	15,297,552
	福利厚生費	255,071	0	255,071
人件費計	114,039,186	11,322,904	1,924,396	127,286,486
(2) その他経費 講師料・支払報酬等	1,053,249	280,009	400,000	1,733,258
	荷造運賃発送費	336,819		574,513
	旅費交通費	2,376,863	27,652	2,545,905
	通信費	1,373,514	19,688	1,594,684
	消耗品・事務用品費	6,459,408	116,701	7,669,841
	水道光熱費	2,293,007	21,215	2,334,836
	地代家賃	20,794,457		21,689,917
	賃借料	478,666	9,482	488,148
	奨学基金充当金	6,445,650		6,445,650
	租税公課	7,425,067	1,962,198	9,387,565
	支払手数料	603,815	33,991	638,106
	減価償却・保証金償却費	6,384,052	3,347,944	9,757,023
	雑費	1,419,039		1,909,877
	その他活動費等	4,121,542	119,933	5,466,112
その他経費計	61,565,148	4,654,656	6,015,631	72,235,435
事業費計	175,604,334	15,977,560	7,940,027	199,521,921
2. 管理費				
(1) 人件費 役員報酬	1,800,000		200,000	2,000,000
	給与手当(通勤手当含む)	841,577		841,577
	退職金及び掛金	536,075		536,075
	法定福利費	268,665		268,665
	福利厚生費	1,347		1,347
人件費計	3,447,664		200,000	3,647,664
(2) その他経費 支払報酬	2,791,460			2,791,460
	荷造運賃発送費	11,752		11,752
	旅費交通費	181,255		181,255
	通信費	187,042		187,042
	消耗品・事務用品費	1,108,711		1,108,711
	水道光熱費	53,246		53,246
	地代家賃	1,023,184		1,023,184
	租税公課	820,562		820,562
	減価償却・保証金償却費	1,050,719		1,050,719
	支払手数料	307,225		307,225
	雑費	33,500		33,500
	その他経費等	807,852		807,852
その他経費計	8,376,508			8,376,508
管理費計	11,824,172	0	200,000	12,024,172
経常費用計	187,428,506	15,977,560	8,140,027	211,546,093
当期経常損益差額	▲ 11,417,010	▲ 1,522,420	11,311,973	▲ 1,627,457
III 経常外収益				
1. 奨学基金繰入金収益	6,445,650			6,445,650
	退職金繰入金戻入	1,824,900		1,824,900
	通常会計繰入金収益		20,948	20,948
経常外収益計	8,270,550	20,948		8,291,498
IV 経常外費用				
1. 支払利息	980,710		2,162,591	3,143,301
2. 雑損失	266,675			266,675
3. 特別会計繰入金支出		20,948		20,948
経常外費用計	1,247,385	20,948	2,162,591	3,430,924
当期正味財産増減額	▲ 4,393,845	▲ 1,522,420	9,149,382	3,233,117
法人税等			4,341,900	4,341,900
前期繰越正味財産				▲ 109,614,709
次期繰越正味財産				▲ 110,723,492

(2) 貸借対照表 (2021 年 3 月 31 日現在)

(単位: 円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	97,203,259		
未収入金	8,897,356		
貯蔵品	26,460		
前払費用	3,626,809		
仮払金	16,500		
預託金	955,047		
流動資産合計		110,725,431	
2 固定資産			
土地	91,723,840		
建物	151,317,380		
建物附属設備	33,093,142		
構築物	4,639,724		
備品	2,901,974		
電話加入権	648,000		
ソフトウェア	172,435		
保証金	12,584,909		
出資金	50,000		
固定資産合計		297,131,404	
3 繰延資産			
長期前払費用	50,972		
繰延資産合計		50,972	
資産合計			407,907,807
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	8,692,372		
未払金	1,673,596		
賞与引当金	4,527,736		
預り金	1,957,935		
仮受金	26,371		
提携事業本部送金	225,000		
未払消費税等	2,311,491		
流動負債合計		19,414,501	
2 固定負債			
長期借入金	215,479,210		
預かり敷金	4,863,000		
退職給付引当金	18,232,995		
固定負債合計		238,575,205	
負債合計			257,989,706
III 正味財産の部			
基本金		245,235,369	
当期指定正味財産		15,406,224	
当期一般正味財産		▲ 1,108,783	
前期繰越正味財産		▲ 109,614,709	
次期繰越正味財産		▲ 110,723,492	
正味財産合計			149,918,101
負債及び正味財産合計			407,907,807

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010 年 7 月 20 日 2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法… 法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。
- (2) 引当金の計上基準… 賞与引当金はスタッフの賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上しています。退職給付引当金は、スタッフの退職給付に備えるため、2017 年度末における退職給付債務に基づき計上しています。2018 年度以降は中小企業退職金共済への加入により退職金給付債務に変動はありません。
- (3) 使途等に制約のある資金の提供を受けた場合の会計処理… 資金を使用した額を寄付金収入として活動計算書に計上し、期末に次期繰越資金が生じている場合は、当期指定正味財産として貸借対照表に表示しています。
- (4) 施設の提供等の物的サービス及びボランティア等による役務の提供を受けた場合の会計処理… 役務提供が常勤の場合に収益及び費用として評価し、活動計算書に計上します。
- (5) 消費税等の会計処理… 消費税は税抜き経理によっています。
- (6) 基本金の組入… 当法人定款、入会金および会費等に関する規程、理事会決議に基づき、NPO入会金・会費は基本金に組み入れ、収益から控除して計上しています。

2. 特定非営利活動の事業別損益の状況 事業別損益の状況は以下のとおりです。

科目	フリースクール事業										ホームエデュケーション事業			小計	合計	
	本部事業	王子	新宿	流山	大田	大学	高校事業	スタッフ養成 FS創設支 援事業	デジタル スタジオ事業	東京シユール 奨学基金	小計					
											公民連携事業	世田谷事業				
													北区事業			
I 経常収益	4,685,000											4,685,000		4,685,000		
1. 受取会費	794,514											794,514		794,514		
2. 寄付金	7,782,327	200,000			285,000		200,000			7,826,320		16,293,647	127,370	16,421,017		
3. 助成金											1,660,000	8,229,344	30,430	8,259,774		
4. 事業収入(会金・会費等)		44,046,005	17,648,594	11,949,373	15,654,050	5,125,729						94,423,751	13,164,378	107,588,129		
5. 施設整備費		2,517,273	1,079,091	740,000	962,728	327,273						5,626,365		5,626,365		
講習会・補助活動事業等	75,188	266,339	107,875	46,367	130,781		218,183					844,733	1,119,312	1,964,045		
6. 提携事業収益							6,998,937					6,998,937		6,998,937		
7. 委託事業収益												38,415,061		38,415,061		
8. その他収益	3,869,913	22,684	153,638		23,788	282,552	32,569					4,385,144	13,650	4,398,794		
9. 基本金組入額	▲4,685,000											▲4,685,000		▲4,685,000		
経常収益計	12,521,942	47,052,301	18,989,198	12,735,740	17,056,347	5,735,554	7,449,689	2,295,256	4,274,088	7,826,320	1,660,000	38,415,061	176,011,496	14,424,710	190,466,636	
II 経常費用																
(1) 人件費																
給料手当等	7,574,201	21,749,892	13,472,225	9,811,882	8,473,860	5,121,373	1,079,095	1,500,000			551,676	25,999,584	95,333,788	9,903,916	105,237,704	
退職金及び掛金	4,824,675												4,824,675		4,824,675	
法定福利費	2,417,994	2,909,899	1,500,262	1,501,472	1,025,983	767,425						3,502,617	13,625,652	1,418,988	15,044,640	
福利厚生費	12,131	20,000	75,120	15,340	30,000	0						102,480	255,071	0	255,071	
人件費計	14,829,001	24,679,791	15,047,607	11,328,694	9,529,843	5,888,798	1,079,095	1,500,000	0	0	551,676	29,604,681	114,039,186	11,322,904	125,362,090	
(2) その他経費																
講師料・支払報酬等	27,018	575,478	45,459	9,091	2,728	86,459	52,187				104,822	150,007	1,053,249	280,009	1,333,258	
荷造運賃発送費	105,773	129,207	36,505	9,840	14,222		22,183	446			18,643		336,819	237,694	574,513	
旅費交通費	576,731	433,678	377,720	187,892	125,746	34,087	159,641	185,330			93,760	202,278	2,376,863	141,390	2,518,253	
通信費	187,043	259,408	134,957	113,536	185,764	60,811	80,847	1,450	59,439		68,783	221,476	1,373,514	201,482	1,574,996	
消耗品費	1,108,712	1,057,855	320,264	157,970	471,963	87,168	117,982	682	1,620,721		248,460	1,267,631	6,459,408	1,093,732	7,553,140	
水道光熱費	53,247	930,811	309,841	317,997	403,088	278,023							2,293,007	20,614	2,313,621	
地代家賃	1,023,184	10,558,900	3,026,187	1,500,001		2,097,457	125,423		2,588,728		224,698		20,794,457	895,460	21,689,917	
賃借料	85,930	18,792	23,823							6,445,650			478,666	9,482	488,148	
奨学基金充当金													6,445,650	0	6,445,650	
租税公課	7,385,067											40,000	7,425,067	300	7,425,367	
支払手数料	307,226	56,750	41,093	41,373	26,400	26,373	38,200	11,400	5,200		1,500	48,300	603,815	33,991	637,806	
減価償却費	1,050,721	593,830	386,466	66,185	3,435,455	493,742						357,653	6,384,052	25,027	6,409,079	
雑費	33,500	234,520	47,624	58,594	30,056	363,913	59,922	590,910				0	1,419,039	490,838	1,909,877	
その他活動費等	2,335,286	297,548	261,718	129,963	567,303	39,126	61,867	5,038			347,658	76,035	4,121,542	1,224,637	5,346,179	
その他経費計	14,279,438	15,146,777	5,011,657	2,592,442	5,262,725	3,567,159	718,252	795,256	4,274,088	6,445,650	1,108,324	2,363,380	61,565,148	4,645,174	66,219,804	
経常経費計	29,108,439	39,826,568	20,059,264	13,921,136	14,792,568	9,455,957	1,797,347	2,295,256	4,274,088	6,445,650	1,660,000	31,968,061	175,604,334	15,968,078	191,581,894	
前期経常損益額	▲16,586,497	7,225,733	▲1,070,066	▲1,185,396	2,263,779	▲3,720,403	5,652,342	0	0	1,380,670	0	6,447,000	407,162	▲1,543,368	20,948	▲1,115,258

3. 基本金計算書 (2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

単位：円

事 項	要組入高	組入高	未組入高
I 前期繰越高	303,781,884	240,550,369	63,231,515
II 当期組入額 NPO入会金・会費収入高	4,685,000	4,685,000	
	4,685,000	4,685,000	0
III 当期取崩額	0	0	
IV 当期末残高	308,466,884	245,235,369	63,231,515

【基本金に組み入れの対象】

1. 収益控除分（定款規定に基づくNPO入会金・会費）
 2. 基本財産取得分（理事会決議により2016年度まで）
 3. 基本財産を借入金にて取得した場合、当該借入金の返済額分（理事会決議により2016年度まで）
- 注）上記、2、3の組み入れについて、理事会決議により2017年度より組み入れを行わないと変更した。

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

計上している役務はありません。

5. 使途が制約された寄付等の内訳

(単位：円)

内 容	前期末寄付預り金額	当期受入額	当期減少額	次年度繰越金
1. 特定寄付金				
① フリースクール事業全般		944,800	944,800	
② フリースクール（入会時寄付）		250,000	250,000	
③ ホームエデュケーションネットワーク事業全般		127,370	127,370	
④ 学校づくりや教育多様化を目指す活動		640,000	640,000	
⑤ 権利映像活動への寄付		78,000	78,000	
⑥ 高校コース（入学時寄付）		200,000	200,000	
⑦ 35周年祭への寄付		1,354,527	1,354,527	
⑧ 東京シュール奨学基金	0	7,826,320	7,826,320	0
特定寄付金計	0	11,421,017	11,421,017	0
2. 助成金				
⑨ フリースクールスタッフ養成・創業支援プログラム事業	3,771,465	6,920,000	2,295,256	※ 8,396,209
⑩ デジタルスタジオ事業	6,068,743	5,215,360	4,274,088	※ 7,010,015
⑪ 北区子どもの多様な育ちを支える地域連携事業		1,660,000	1,660,000	
⑫ ホームシュール地方サロン		30,430	30,430	
助成金計	9,840,208	13,825,790	8,259,774	15,406,224

※⑨、⑩につきましては、特定正味財産として財産目録に標記しています

備考

- ①フリースクールの活動全般に対する、ほのぼの運動協議会からの寄付、個人等からの寄付（8件）です。
- ②フリースクール入会時の寄付5名からの寄付です。50%を基金に繰り入れています。
- ③ホームシュールの活動に対する個人等からの寄付です。
- ④朝日ライフアセットマネジメント株式会社SRI社会貢献ファンド「あすのはね」による寄付活動です。
- ⑤権利映画活動、25周年映画活動への個人からの寄付です。
- ⑥高校コース入学生保護者(4名)からの寄付です。内50%を奨学基金への寄付に繰り入れています。
- ⑦35周年祭活動への個人からの寄付です。
- ⑧入会入学時寄付の50%、寄付サイトによる寄附、コロナ減免寄付金等を繰り入れています。
- ⑨公益財団法人石橋財団による寄付助成活動です。
- ⑩ボーイング社からの寄付助成活動です。
- ⑪北区政策提案協働事業です。
- ⑫子どもゆめ基金からの事業です。

上記の特定寄付金のほか、使途特定のない一般寄付金として45名から5,794,514円の寄付がありました。

6. 固定資産の増減内訳

(単位: 円)

科 目	取得価額	取得	減少	前期末帳簿価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
基本財産						
土地 大田区仲六郷2丁目13-13	28,572,060			28,572,060	0	28,572,060
大田区仲六郷2丁目13-16	63,151,780			63,151,780	0	63,151,780
建物 東京シュール大田ビル	161,846,562			153,359,000	12,048,185	149,798,377
ログハウス(長野 麻績村)	24,000,000			2,243,294	22,800,000	1,200,000
建物付属設備 東京シュール大田ビル	40,211,593			34,120,287	8,771,619	31,439,974
構築物 //	5,847,770			5,031,523	1,208,046	4,639,724
備品 //	1,066,159			747,417	469,406	596,753
その他の固定資産						
建物 新宿 旧若松出張所 建物改修工事	22,221,240			1,003,933	21,902,237	319,003
建物付属設備 王子 コーエービル 空調設備等	2,327,625			90,194	2,264,591	63,034
// 玄関、ロッカー設置	1,954,800			1,031,670	1,118,610	836,190
// 屋上手摺工事等	166,000	166,000			20,750	145,250
// 照明器具取替工事	229,000	229,000			7,671	221,329
新宿 旧若松出張所 玄関、自動ドア	1,029,840			100,728	975,858	53,982
// 空調設備	974,658			235,119	848,656	126,002
王子 ベルビックビル パーティション工事	681,793			435,099	474,412	207,381
工具器具備品 王子 コーエービル ネットワーク機器	642,500			465,813	240,937	401,563
// 耐火金庫	181,749			128,742	62,094	119,655
// 給湯器	189,972			23,416	189,971	1
// 照明器具等	408,762			374,067	62,081	346,681
// 看板	496,800			426,420	120,060	376,740
新宿 旧若松出張所 ネットワーク機器等	666,728	150,000		183,935	372,209	294,519
流山 グローリアビル パソコン、エアコン	316,800			261,285	121,700	195,100
世田谷 舞台	1,070,820			593,950	834,523	236,297
HS 東風ビル エアコン工事	359,680	359,680			25,027	334,653
その他備品	4,916,000			11	4,915,988	12
電話加入権	648,000			648,000	0	648,000
ソフトウェア 東京シュールホームページ	451,400			262,715	278,965	172,435
保証金 王子 コーエービル	12,744,000			12,744,000	1,000,000	11,744,000
流山 グローリアビル	120,000			120,000	0	120,000
王子 ベルビック大岩	630,000			630,000	0	630,000
立石 東風ビル	90,909	90,909			0	90,909
出資金 瀧野川信用金庫 西ヶ原支店	50,000			50,000	0	50,000
合 計	378,265,000	995,589	0	307,034,458	81,133,596	297,131,404

7. 借入金の増減内訳

(単位: 円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金				
瀧野川信用金庫 土地購入	25,150,000		3,960,000	21,190,000
// 建築費用	204,568,041		10,278,831	194,289,210
合計	229,718,041	0	14,238,831	215,479,210

8. 役員及びその近親者との取引の内容 役員及びその近親者(2 親等者内の親族、支配する法人)との取引

(単位: 円)

科目	財 務 諸 表 に 計 上 さ れ た 金 額	内、役員との取引	内、近 親 者 及 び 支 配 法 人 等 と の 取 引
(活動計算書)			
I 経常収益			
寄付金	16,421,017	692,320	
その他収益(雑収入等)	4,398,794		299,373
収益計	20,819,811	692,320	299,373
II 経常費用			
1. 事業費			
地代家賃	21,689,917		436,368
その他経費(広告宣伝費等)	5,466,112		838,910
2. 管理費			
支払報酬・講師料	2,791,460		1,220,000
経費計	29,947,489	0	2,495,278

- 役員との取引には、役員本人、学校法人東京シュール学園、NPO法人フリースクール全国ネットワーク、NPO法人登校拒否・不登校を考
える全国ネットワーク、NPO法人不登校新聞社、NPO法人日本子どもNPOセンター、多様な学び保障法を実現する会、株式会社創造
集団440Hz、NPO法人ちばネモ不登校・ひきこもりネットワークとの取引があり、近親者との取引はありません。
- 経常収益における「その他収益(雑収入)」には、事務所賃料、コピー機カウンター料金等の負担分が含まれています。

(3) 財産目録 (2021 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

科目			期末帳簿価額		
Ⅰ 資産の部					
1	流動資産				
	現金預金	現金	410,961		
		普通預金	42,990,519		
			2,489,053		
		瀧野川信用金庫西ヶ原支店	12,743,858		
		ゆうちょ銀行	振替口座	2,763,780	
		定期預金	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	34,355,088	
		定期積金	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	1,450,000	97,203,259
	未収入金		過年度分ゆめ基金事業費	30,430	
			過年度分フリースクール事業会費	1,622,152	
			過年度分ホームエデュケーション事業会費	94,950	
			過年度分世田谷事業	7,149,824	8,897,356
	貯蔵品	書 籍		26,460	26,460
	前払費用	家 賃	王子 コーエビル4月分家賃	1,100,000	
			新宿 旧若松出張所4月分家賃	468,000	
			流山 グローリアビル4月分家賃	137,500	
			王子 ベルビックビル4月分家賃	231,000	
			王子 駐輪場代4月分地代	23,100	
			HS 東風ビル4 階 4 月分家賃	100,000	
		通勤手当	2021年4月～9月分スタッフ定期代	1,378,189	
		その他	2021年度活動のための会場代等	189,020	
			HS 図書カード購入代金	16,500	
	仮払金		Syncable取扱い寄附金等	955,047	4,598,356
	預託金				
	流動資産合計				110,725,431
2	固定資産				
	(1) 固定資産				
	土 地	大田 仲六郷2丁目13番13 (246.68㎡)	28,572,060		
		大田 仲六郷2丁目13番16 (120.01㎡)	63,151,780		
	建 物	大田 東京シュレ大田ビル	149,798,377		
		長野 ログハウス	1,200,000		
	建物付属設備	大田 東京シュレ大田ビル	躯体部分設備	31,439,974	
	構築物	大田 東京シュレ大田ビル	外構工事	4,639,724	
	備品	大田 東京シュレ大田ビル	ネットワーク機器等	596,753	
	固定資産合計			279,398,668	
	(2) その他の固定資産				
	建 物	新宿 旧若松出張所 耐震、改修工事	319,003		
	建物付属設備	王子 コーエビル 空調設備等	63,034		
		王子 コーエビル 玄関、ロッカー設置工事	836,190		
		王子 屋上手摺工事	145,250		
		王子 照明器具取替工事	221,329		
		新宿 旧若松出張所 玄関、自動ドア	53,982		
		新宿 旧若松出張所 空調設備	126,002		
		王子 ベルビックビル パーティション工事	207,381		
		王子 コーエビル ネットワーク機器	401,563		
		王子 コーエビル 耐火金庫その他備品	843,078		
		新宿 旧若松出張所 ネットワーク機器等	294,519		
		流山 パソコン、エアコン	195,100		
		世田谷 舞台	236,297		
		立石 (HS) エアコン工事	334,653		
		その他備品	11		
	電話加入権		648,000		
	ソフトウェア	東京シュレ代表ホームページ	172,435		
	保証金	王子 コーエビル	11,744,000		
		流山 グローリアビル	120,000		
		王子 ベルビックビル	630,000		
		立石 東風ビル4階	90,909		
	出資金	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	50,000		
	長期前払費用	王子 ベルビックビル 礼金	50,972		
	その他の固定資産合計			17,783,708	
	固定資産合計				297,182,376
	資産合計				407,907,807
Ⅱ 負債の部					
1	流動負債				
	前受金	2021年度分フリースクール事業会費	1,683,290		
		2021年度分ホームエデュケーション事業会費	1,971,482		
		東京シュレ大田ビル 1階、2階家賃	1,783,100		
		高校事業入学金等	3,254,500	8,692,372	
	未払金	社会保険料事業所負担分	952,260		
		(株)創造集団440Hz PC保守料等	360,650		
		その他	360,686	1,673,596	
	賞与引当金		4,527,736	4,527,736	
	預り金	社会保険料等	1,957,935	1,957,935	
	仮受金	証明書発行手数料等	26,371	26,371	
	提携事業本部送金		225,000	225,000	
	未払消費税		2,311,491	2,311,491	
	流動負債合計				19,414,501
2	固定負債				
	長期借入金	大田仲六郷土地購入資金 瀧野川信用金庫	21,190,000		
		東京シュレ大田ビル建設資金 瀧野川信用金庫	194,289,210		
	預かり敷金	東京シュレ大田ビル敷金 (株)なないろ	4,863,000		
	退職給付引当金		18,232,995		
	固定負債合計			238,575,205	238,575,205
	負債合計				257,989,706
Ⅲ 正味財産					
1	使途が制約された寄附等	石橋財団	8,396,209		
		ボーイング社	7,010,015		
2	一般の正味財産		134,511,877		149,918,101

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人東京シューレ
理事長 奥 地 圭 子 殿

私は、特定非営利活動法人東京シューレ定款第22条に基づき、貴法人の第22期事業年度（自令和2年4月1日至令和3年3月31日）の決算報告書、すなわち特定非営利活動及びその他の収益活動に係る活動計算書、基本金計算書、貸借対照表並びに財産目録について監査を行った。私は、上記の決算報告書が NPO 法人会計基準に準拠して、当該決算報告書に係る期間の財政状態及び収支の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

令和3年5月7日

監 事

紙 野 愛 佳 

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人東京シュレー

理事長 奥 地 圭 子 殿

私は、2020年4月1日から2021年3月31日までの特定非営利活動法人東京シュレーの事業運営について監査を行いました。その結果、法人の目的に沿って運営されているものと認めます。

そのうえで、以下のとおり付帯意見を申し述べます。

2020年度は世界的なコロナ禍に見舞われた中、いち早く会員家庭の経済的な支援を行うなど、素早い対応は評価に値します。

しかし、ログ性加害事件、シュレー大事件という、ふたつの大きな事件への対応については、情報共有のあり方や説明責任の不足から、コンプライアンスの欠如が露呈されました。民主的な子どもの成長の場として、不信感に繋がりがねない事態であったと認識をすべきです。会員および社会からの信頼を得ることが、団体の存続に不可欠であることは言を俟ちません。

NPO法人として社会的責任を果たすために、問題点を明らかにしたうえで、透明性を担保するガバナンスの確立を強く求めます。

以上のとおり、報告いたします。

2021年5月30日

監 事 牧野 恵



2021 年度（第 23 期）の事業の重点と基本計画

2021 年 6 月開催の通常総会にて役員の選任が行われ、創業者である奥地圭子が理事長を退任し、新たに喜多明人が選任されました。以後、理事会と組織の改革に着手しており、役員、組織体制、事業計画の変更が予定されています。

■ 1 重点目標と基本計画

重点目標

〔重点目標 1〕 フリースクールの価値を打ち出し、多様な学びをさらに進化させ、「子ども中心の教育」の魅力を高める

- ① 子どもの成長に大切なスポーツ、野外活動、自然体験等をコロナ状況の様子を見ながらも充実させていく
- ② 子ども達の未来を考え、持続可能な地球や社会に向けて、SDGs への関心を高め、年齢に応じてできることに取り組む
- ③ 現在増えている小学生への対応、基礎学習や体験的学び等、初等部研究会を継続しながら構築していく
- ④ 社会的自立を視野に入れつつ、高等部ならではのオリジナルな活動を充実させ、自信をもって、次のステップに進めるようにサポートしていく
- ⑤ コロナ状況から在宅で成長する子ども若者が増えている状況を背景に、ホームシュール事務所独立を活かしつつ、ホームエデュケーションへの理解を広め、つながりを増やしていく

〔重点目標 2〕 東京シュールのこれまでの制度を見直し、新しい時代により対応できるよう、仕組みを整える

- ① オンライン活動を充実させ、個別最適なかかわり方を見つけながらも子ども相互の交流を活発化させる検討を行っている
- ② 開室時間の在り方をさまざまな側面から見直し、検討する
- ③ これまでの会員制度（正会員・準会員等）を見直し、適切な制度としていく
- ④ 保護者同士のつながりあいを「親立」の考え方で出発した場であることを共有化しつつ、保護者会の在り方を再検討し、参加者が増える工夫をしていく

〔重点目標 3〕 ログハウスシュール性暴力加害事件等の反省に基づく対応と再発防止に努める

- ① ログ性加害事件を生じさせたことを深く反省し、検証の上で分かった組織上の問題点を改善していく
- ② 事件や裁判について明確にし、しっかりした対応と社会的責任を果たし、再発防止策を推進する

〔重点目標 4〕 公民連携による不登校理解の拡大と多様な学びの推進

- ① 当法人も力を入れて実現させた「普通教育機会確保法」の周知・普及をさらにすすめ、不登校への否定的まなざしを変えていく
- ② フリースクールへの公的な財源による経済支援について、国、都、区に働きかけ、一歩でも前進させる
- ③ 世田谷区、北区、新宿区、東京都、千葉県などつながりができた自治体と連携しながら、多様な学びへの理解と協力を広げる

〔重点目標 5〕 組織基盤の整備※と職員の働き方改革をすすめる

※2021 年 6 月通常総会にて

- ① スタッフの業務削減と効率化により、ゆとりをもって仕事に取り組める環境づくりを行う
- ② 事務局体制を見直し、事務作業を整理し、適切な分担を検討、スタッフの事務作業時間を確保する
- ③ スタッフの有給休暇の取得を徹底する
- ④ スタッフの採用方法、採用条件を検討し定める
- ⑤ スタッフがじっくり話し合える機会をつくる

■ 2 役員の体制

任期 2021 年 6 月 20 日～

役職	氏名	主な所属および関係団体 ※就任時
理事長	喜多明人	早稲田大学名誉教授、子どもの権利条約フォーラム代表、東京シュール学園評議員・元理事、多様な学び保障法を実現する会共同代表
理事	浅岡祐輔	大田シュールスタッフ
理事	池田あつ子	流山シュール元保護者、ホームシュール会員
理事	今井睦子	世田谷スタッフ・ほっとスクール「希望丘」施設長
理事	木村砂織	東京シュール学園理事・東京シュール葛飾中学校校長、葛飾不登校の子どもをもつ親・保護者の会代表
理事	京藤裕子	王子シュール元保護者、ホームシュール会員
理事	島田均	支援会員、王子シュール元保護者、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク理事
理事	立山剛	王子シュール元保護者
理事	西明子	新宿シュール会員保護者
理事	野村芳美	大田シュールスタッフ・保護者、不登校を考える親の会・大田代表
理事	松尾和俊	新宿シュールスタッフ
理事	矢嶋康平	ホームシュールスタッフ
監事	石渡深里	大田シュール保護者、医師
監事	紙野愛健	公認会計士・税理士、東京シュール学園元監事